



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東名

上場会社名 CKD株式会社

コード番号 6407 URL <http://www.ckd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 梶本 一典

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 舟橋 典孝

TEL 0568-74-1006

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 47,507 | △11.6 | 2,011 | △51.9 | 2,135 | △49.9 | 1,346 | △48.3 |
| 24年3月期第3四半期 | 53,737 | 0.2 | 4,184 | △27.2 | 4,259 | △26.4 | 2,606 | △25.0 |

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 1,031百万円 (△46.4%) 24年3月期第3四半期 1,924百万円 (△38.6%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年3月期第3四半期 | 21.37 | — |
| 24年3月期第3四半期 | 41.08 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 25年3月期第3四半期 | 69,244 | 48,488 | 70.0 |
| 24年3月期 | 70,079 | 48,322 | 69.0 |

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 48,488百万円 24年3月期 48,322百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期 | — | 6.00 | — | 6.00 | 12.00 |
| 25年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 25年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 65,000 | △10.7 | 3,200 | △47.3 | 3,400 | △45.3 | 2,200 | △41.2 | 34.78 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信(添付資料)2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 25年3月期3Q | 69,429,349 株 | 24年3月期 | 69,429,349 株 |
| 25年3月期3Q | 6,976,027 株 | 24年3月期 | 5,975,583 株 |
| 25年3月期3Q | 63,013,071 株 | 24年3月期3Q | 63,453,983 株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 2 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 6 |
| (4) セグメント情報等 | 6 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 6 |
| (6) 重要な後発事象 | 6 |
| 4. 補足情報 | 7 |
| 〔生産、受注及び販売の状況〕 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興関連需要や政府の消費刺激策により、期初は穏やかながらも回復に向かいました。その後、環境対応車普及促進事業補助金の終了なども影響し内需に翳りが出ております。一方外需は、長引く欧州債務問題がアジア新興国の景気にも影響したことに日中関係の問題も重なり、輸送機械など輸出産業が一時的に悪化いたしました。

このような状況のもとで、当第3四半期連結累計期間の売上高は47,507百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。損益面では、売上高の減少により営業利益は2,011百万円（前年同四半期比51.9%減）、経常利益2,135百万円（前年同四半期比49.9%減）、四半期純利益1,346百万円（前年同四半期比48.3%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 自動機械部門

主力商品の薬品包装機械は、政府によるジェネリック医薬品普及促進と医療用医薬品安全対応により受注が増加いたしました。しかしながら装置納入時期は第4四半期に集中しており、当第3四半期連結累計期間における売上は減少いたしました。また、はんだ印刷検査機と二次電池製造装置は、設備投資抑制の影響から売上が減少いたしました。その結果、売上高は8,519百万円（前年同四半期比15.9%減）、営業利益は584百万円（前年同四半期比55.1%減）となりました。

② 機器部門

国内市場は、車載用及びスマートフォン用の電子部品向けと医療機器向けの売上は好調を維持しております。しかし、半導体業界向けと二次電池業界向け売上は、設備投資抑制の影響を受け減少いたしました。

海外市場は、タイの洪水復興需要により東南アジアの売上は増加いたしました。しかし、景気減速の影響から東アジアの売上が減少したため、海外売上は減少いたしました。その結果、売上高は38,988百万円（前年同四半期比10.6%減）、営業利益は3,246百万円（前年同四半期比30.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ835百万円減少の69,244百万円となりました。これは主に、現金及び預金並びに有価証券の増加があったものの、売上債権が減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,001百万円減少の20,755百万円となりました。これは主に、借入金の増加があったものの、買掛金及び未払従業員賞与が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加の48,488百万円となりました。

自己資本比率につきましては、前連結会計年度末に比べ1.1ポイント増加の70.0%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内経済は、日中関係などの外部的リスクへの注視は必要ながら、新政権による経済政策の効果やアジア新興国経済の成長が、内外需の回復に寄与するものと見込まれます。

このような状況から、現時点での通期業績予想は平成24年10月31日に発表いたしました通期連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第3四半期連結会計期間において、CKDフィールドエンジニアリング株式会社を新たに設立し、連結の範囲に含めておりますが、特定子会社には該当しません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成24年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,059 | 8,780 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,466 | 13,583 |
| 営業未収入金 | 3,538 | 2,216 |
| 有価証券 | — | 2,000 |
| 商品及び製品 | 3,816 | 4,306 |
| 仕掛品 | 1,815 | 2,892 |
| 原材料及び貯蔵品 | 11,217 | 10,462 |
| その他 | 2,052 | 2,654 |
| 貸倒引当金 | △103 | △64 |
| 流動資産合計 | 46,863 | 46,832 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 7,668 | 7,269 |
| その他(純額) | 10,308 | 10,154 |
| 有形固定資産合計 | 17,977 | 17,423 |
| 無形固定資産 | 818 | 834 |
| 投資その他の資産 | 4,420 | 4,154 |
| 固定資産合計 | 23,216 | 22,412 |
| 資産合計 | 70,079 | 69,244 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,335 | 8,151 |
| 短期借入金 | 2,723 | 2,839 |
| 未払法人税等 | 859 | 83 |
| 賞与引当金 | 55 | 771 |
| その他の引当金 | 515 | 523 |
| その他 | 5,366 | 4,077 |
| 流動負債合計 | 18,855 | 16,448 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,317 | 2,702 |
| 引当金 | 99 | 110 |
| その他 | 1,484 | 1,494 |
| 固定負債合計 | 2,901 | 4,307 |
| 負債合計 | 21,757 | 20,755 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 11,016 | 11,016 |
| 資本剰余金 | 12,735 | 12,735 |
| 利益剰余金 | 29,520 | 30,173 |
| 自己株式 | △4,710 | △4,883 |
| 株主資本合計 | 48,560 | 49,041 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 498 | 169 |
| 為替換算調整勘定 | △736 | △722 |
| その他の包括利益累計額合計 | △238 | △552 |
| 純資産合計 | 48,322 | 48,488 |
| 負債純資産合計 | 70,079 | 69,244 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 53,737 | 47,507 |
| 売上原価 | 39,188 | 34,941 |
| 売上総利益 | 14,548 | 12,566 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,364 | 10,555 |
| 営業利益 | 4,184 | 2,011 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 10 | 10 |
| 受取配当金 | 96 | 90 |
| その他 | 283 | 216 |
| 営業外収益合計 | 390 | 317 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 57 | 55 |
| 売上割引 | 73 | 83 |
| 為替差損 | 128 | — |
| その他 | 55 | 54 |
| 営業外費用合計 | 315 | 193 |
| 経常利益 | 4,259 | 2,135 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 44 | 1 |
| 補助金収入 | 8 | — |
| 特別利益合計 | 52 | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産売却損 | 9 | 2 |
| 固定資産除却損 | 39 | 9 |
| 特別損失合計 | 48 | 12 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 4,263 | 2,124 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 1,138 | 277 |
| 法人税等調整額 | 518 | 500 |
| 法人税等合計 | 1,657 | 778 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,606 | 1,346 |
| 四半期純利益 | 2,606 | 1,346 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 2,606 | 1,346 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △472 | △329 |
| 為替換算調整勘定 | △209 | 14 |
| その他の包括利益合計 | △682 | △314 |
| 四半期包括利益 | 1,924 | 1,031 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,924 | 1,031 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|--------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 自動機械部門 | 機器部門 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,130 | 43,606 | 53,737 | — | 53,737 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | 3 | 120 | 124 | △124 | — |
| 計 | 10,134 | 43,727 | 53,861 | △124 | 53,737 |
| セグメント利益 | 1,301 | 4,670 | 5,971 | △1,787 | 4,184 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,787百万円には、セグメント間取引消去26百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,813百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注2) |
|-----------------------|---------|--------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 自動機械部門 | 機器部門 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,519 | 38,988 | 47,507 | — | 47,507 |
| セグメント間の 内部売上高又は振替高 | — | 150 | 150 | △150 | — |
| 計 | 8,519 | 39,138 | 47,657 | △150 | 47,507 |
| セグメント利益 | 584 | 3,246 | 3,831 | △1,819 | 2,011 |

- (注) 1. セグメント利益の調整額△1,819百万円には、セグメント間取引消去25百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,845百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用及び長期的な基礎的研究費用並びにCKDグローバルサービス株式会社に係る費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
退職給付制度の改定

当社は平成25年4月1日より退職給付制度の改定を実施する予定であり、平成25年1月24日付けで労使合意に至っております。現行の確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度を改定するとともに、確定給付企業年金制度の一部を確定拠出年金制度に移行し、確定拠出年金制度が退職給付制度に占める割合をこれまでの20%から50%に引き上げることを予定しております。なお、本制度の改定による当連結会計年度及び翌連結会計年度の損益に与える影響額は算定中であります。

4. 補足情報

〔生産、受注及び販売の状況〕

(1) 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高 (百万円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|-----------|-------------|
| 自動機械部門 | 9,602 | △8.5 |
| 機 器 部 門 | 38,537 | △7.7 |
| 合 計 | 48,139 | △7.8 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 金額は、販売価格によっております。
 3. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 受注高 (百万円) | 前年同四半期比 (%) | 受注残高 (百万円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|--------------|----------------|---------------|----------------|
| 自動機械部門 | 12,623 | +66.1 | 11,560 | +81.1 |

- (注) 1. 自動機械部門以外は、需要見込による生産方法をとっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高 (百万円) | 前年同四半期比 (%) |
|----------|-----------|-------------|
| 自動機械部門 | 8,519 | △15.9 |
| 機 器 部 門 | 38,988 | △10.6 |
| 合 計 | 47,507 | △11.6 |

- (注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。